

南南協力の事例

アジア生産性機構(APO)

- による生産性運動のアフリカへの展開
- アジア人専門家による研修等

資料8

ザンビア・マレーシア

「南南協力を通じた投資促進環境整備支援プロジェクト」

- ザンビアの投資環境整備を支援するためマレーシア工業開発庁元副長官ジャガテッサン氏を派遣。“Triangle of Hope(政府の意思、民間の結束、行政の効率化)”の政策を紹介
- 12の分野で投資を呼び込むため計画を策定。アジアの投資を呼び込もうと努力。

ベトナム・モザンビーク協力

- TICADⅢでのベトナム政府からの提案を機に調査団派遣。2006年9月に協力協定締結。
- 米生産性向上、ザンベジ川流域における農業開発に協力要請あり。

日本・ブラジル・パートナーシップ・プログラム

- 2000年3月に中南米、ポルトガル語圏諸国等の開発途上国支援を推進するため署名。
- モザンビーク、アンゴラへ共同調査団を派遣。また、ポルトガル語圏アフリカ諸国及び東ティモールを対象に共同研修を実施。

マダガスカル・インドネシア人第三国専門家

- マダガスカル農村部はアジア(マレー系)人種・現地語の類似性を背景にインドネシア農業技術の適応素地があると見られることから、インドネシアで利用される農機具(干歯扱き等)のプロトタイプ作成、農業技術の技術移転を行う。
- 研修を受けた農民が他の農民に研修を行うなど、自発的な技術移転も展開。



＜南南協力 2006年度 その他の案件＞

(主に研修、セミナー)

受入国	対象国	案件名
インドネシア	9カ国(エジプト、ケニア、タンザニア等)	アフリカ向けマイクロファイナンス研修
インドネシア	東アフリカ3カ国 (ケニア、タンザニア、ウガンダ)	IETC(貿易研修センター)によるアフリカ協力
タイ	エチオピア	農民支援本邦強化計画プロジェクト
タイ	エチオピア、ケニア、マラウイ等	JICAとTICAによる研修 (タイ国際開発協力機構)
スリランカ	ケニア、ウガンダ、タンザニア	遠隔教育・辞書技術者育成
インド	ガーナ、タンザニア、ザンビア	JICA-NICED第3国研修
ブラジル	アフリカ諸国等	野菜生産コース
ウガンダ	スーダン	基礎的・技能・職業訓練強化計画
ケニア	スーダン	紛争後の復興に伴う対スーダン研修
マレーシア	アフリカ諸国 (ナイジェリア、ウガンダ、マラウイ等)	中小企業振興政策セミナー (JICA-UNDP-EPU第三国研修 及びJICA-EPU第三国研修)
スリランカ	アフリカ8カ国(ケニア、ウガンダ等)	「きれいな病院プログラム」
カンボジア	紛争終了国(スーダン、シエラレオネ等)	平和の定着支援セミナー